

## 外郭団体ミッション遂行評価票

## 【平成28年度取組結果】

団体名	公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム	所管課	総務局 男女共同参画推進課
団体に対するミッション		行財政改革大綱における見直し内容	
<p>①日本及び他のアジア諸国の男女共同参画に関する調査研究、国際交流、情報収集・発信等を通じて、日本及び他のアジア諸国の女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図り、相互の発展に寄与する。</p> <p>②団体が有する国際的視点を備えた高い専門性や知識・情報、人的ネットワークなどを活用し、女性が活躍できる経済社会の実現など、本市における男女共同参画社会の形成の推進に寄与する。</p>		<p>研究部門については、国際的な視点からの男女共同参画に加えて、その時々行政課題等に的確に対応し、市の政策課題である「第3次男女共同参画基本計画」の重点取組みに直結した業務を行い、その成果を市民に見える形で還元していく。なお、成果が見られなければ、大学等との統合、又は、廃止を検討する。</p> <p>また、既存事業をゼロベースで精査・見直し、同計画の具体的施策を具現化するための事業に集中して取り組む。</p>	

ミッションに基づく中期計画							
3～5年後に目指す状態	団体が有する国際的視点を備えた高い専門性や知識・情報、人的ネットワークなどを活用し、調査研究、国際交流、情報収集・発信、各種プログラムの開発、セミナーの開催等を行うことにより、本市における男女共同参画社会の形成を推進する。						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H27 実績	H28 目標 実績		H29 目標	H30 目標	H31 目標	H32 目標
男女共同参画という言葉の認知度	— (68.9%平成23年度調査)	—	—	—	80%	—	—
「研究報告会」・「アジア女性会議」・「国際理解セミナー」の参加者満足度	87%	70%	80%	70%	70%	70%	70%
「研究者ネットワークセミナー」・「キャリア形成プログラム」の参加者満足度	88%	70%	88%	70%	70%	70%	70%
男女共同参画センター及び勤労婦人センターの事業数	332講座	前年度と同程度	308講座	前年度と同程度	前年度と同程度	前年度と同程度	前年度と同程度

ミッションの遂行状況の評価（平成28年度）			
団体における評価	<p>「第3次北九州市男女共同参画基本計画」を踏まえた調査研究やキャリア形成プログラムの開発を行うことができた。KFAWアジア研究者ネットワークの活用によって、セミナーの開催回数を倍増させ、より幅広いテーマで実施することができた。また、国際的先見性のあるSDGsや、男女共同参画の視点から防災や地域づくりを考えるワールドリポートセミナーや仙台スタディツアーなど、時代に即したテーマを市民に提供することができた。ムーブ・レディスの講座についても、キャリア形成や男性の家事参加などの視点から内容の充実を図った。このような取組みの結果、参加者の高い満足度を得ることができ、女性の地位向上や男女共同参画社会づくりに寄与することができた。</p>		市の評価
	今後の課題及び見直し内容（案）	<p>市の政策課題の重点取組みに直結したテーマや、時代に即したテーマ設定による調査研究、プログラム開発、セミナー・講座等を開催し、女性の地位向上や男女共同参画社会づくりを推進する。また、幅広い調査研究やセミナーの開催等に対応するため、外部の研究者をより積極的に活用する。</p>	

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	統合を検討する団体 特に具体的な成果が求められ、成果が見られなければ統廃合を検討する団体
<p>研究部門については、市の政策課題の重点取組みに直結し、かつ時代にマッチしたテーマの調査研究を行うことができた。併せて、本市で今後の課題となるテーマや国際的先見性のあるものなど、時代に即したテーマの研究報告会やセミナー等を開催した結果、参加者の高い満足度を得ることができ、一定の成果を上げることができた。また、研究者ネットワークの研究者等を活用して、セミナー開催のほか製造業における女性活躍プログラムの開発や職場のハラスメントの啓発冊子の作成などを行い、研究者ネットワークの充実を図った。既存事業の精査・見直しについては、ムーブとレディスの連携による企画の共有化など、効果的、効率的な事業実施に継続して取り組んだ。</p>	